



モデル事業

モデル事業

POWER UP!

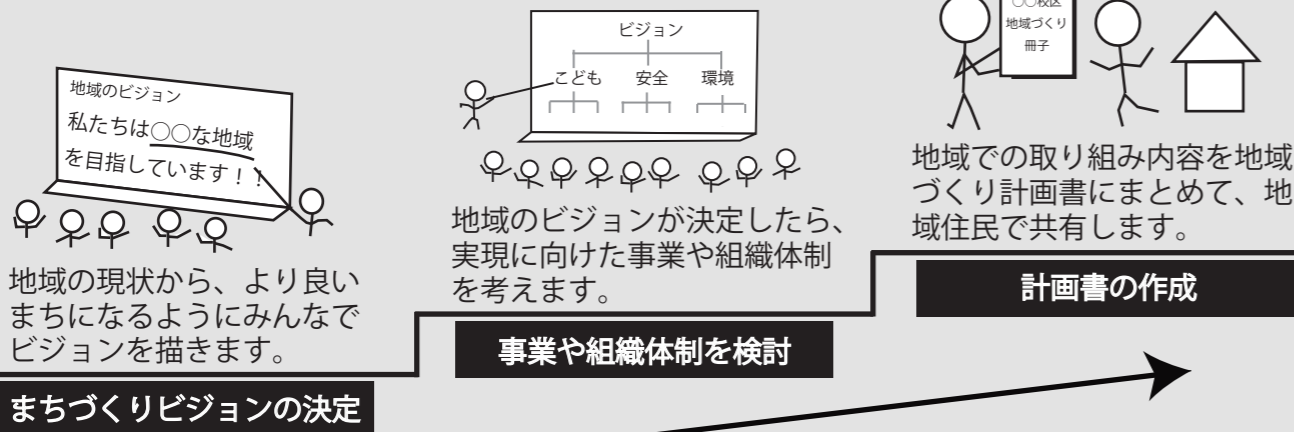
いまこん通信

Vol.8

平成 26 年 2 月発行
明石コミュニティ創造協会
TEL: 078-918-5248

コミ創よりモデル事業が「今こんな感じ」とお伝えする通信紙

今後の取り組み



POINT

取り組みを進めるにあたって、地域の幅広い意見を反映するため、住民みんなで考えます。

これまでの取り組みと成果

松が丘

- プロジェクトチームを発足
⇒まち協の組織課題を把握、分析
- 会議の次第やレイアウトを見直し
⇒意見を出し合える会議へと改善
- 広報紙をカラーで全戸配布
⇒まち協の現状を周知
- 住民全体の意見交換会を実施
⇒住民みんなで松が丘の現状や将来への思いを共有

江井島

- 全世帯アンケートの実施
⇒校区の現状把握、分析
- まちづくりプロジェクトを発足
⇒アンケートの集計、分析
組織強化へ向けた企画提案
- 広報紙をカラーで全戸配布
⇒校区の情報を周知
- コミ推協の主催事業を見直し
⇒今後の実施体制を改善

魚住

- 検討チームを発足
⇒モデル事業の取り組みの効率化
- 広報紙をカラーで全戸配布
⇒まち協の現状を周知
校区への愛着を喚起
- 全世帯アンケートの実施
⇒校区の現状把握、分析
- 住民全体の意見交換会を実施
⇒校区の魅力、課題を共有
住民のまち協への参画促進

明石コミュニティ創造協会が平成 25 年 12 月～のモデル事業の動きを取材しました。(平成 26 年 2 月時点)

Model Reports

松が丘・・・住民みんなで意見交換会を実施!

「住民みんなでまちづくりを考えていこう」と意見交換会を開催することとなったまちづくり協議会。名称は「松が丘みんなでつくる未来会議」に決定。多くの人に参加してもらえるように、自治会を通じて地域に案内するだけでなく、メンバーからも積極的に呼びかけを行った。

話し合いの場が必要
2月1日、未来会議に集まっ

た参加者は 72 名。メンバーの進行のもと、グループに分かれて松が丘の現状や将来への思いを共有した。「若い人も活動に参加してもらうにはどうしたらいいだろうか」「これをきっかけに、まちづくりの関心が広まってほしい」など、まちづくりに幅広い世代が関わることができる仕組みづくりが求められている。また、参加者からは「将来を出しっぱなしではいけない」「今

後もこのような話し合いの場が必要だ」との声もあり、次回開催に向けて準備を進めている。



住民みんなで将来への思いを共有

江井島・・・多くの住民が運営に関わる組織を目指す 朝来市与布土地区を視察

まちづくりプロジェクトでは、新たな人材発掘を目指し、12月15日と1月26日の2回会議で具体的な方法を検討した。地域には、イベント手伝い・広報紙作成・HP入力・ふれあい喫茶・夢文庫・見守り愛隊など、テーマによって募集するボランティア登録制度がある。しかし地域では、より積極的に企画プロセスから関わる人材が求められている。そこで、3月9日開

催のプロジェクト会議で座談会を開催し、住民アンケートの結果を元に「福祉」「防犯防災」「ゴミ環境」「文化教養」「住民交流」などをテーマに、今後のまちづくりについて気軽に話し合う場を設け、より積極的にまちづくりに関わる人材を募る予定だ。一方、校区組織の再編を考える気運も高まりつつある。校区内には様々な組織が存在し、似たような役割を担う組織、活動

が不十分な組織があるのも事実。江井島のまちづくりの参考とするために、2月17日に朝来市与布土地区を視察した。



まちづくりプロジェクトで議論するメンバー

魚住・・・多くの住民がざっくばらんに意見交換 これからを考える座談会開催!

魚住小校区のまちづくりについて、まち協の構成員だけでなく全住民に声かけし、1月25、26日に魚住市民センターと金ヶ崎文化センターで、「魚住小校区のこれからを考える座談会」を開催した。2日間で延べ78人の住民が集まり、グループに分かれて、まちの「魅力」「課題」「今後必要なこと」についてざっくばらんに意見交換を行った。

今後も座談会を継続

自然が多い、災害が少ない、まち協の活動が活発といった「魅力」と、交流が少ない・マナーが悪いなどの「課題」を共有。和気あいあいと楽しい雰囲気にしたことで、引き続きこのような気軽に意見交換ができる場をつくり、まちづくりを進めていくことが必要であるという意見が多く出された。

今後はまちづくり計画の作成と、まち協の活動に巻き込んでいける人材の掘り起こしを目指して座談会を継続していく。



楽しい雰囲気ですざっくばらんに意見交換